

論文番号 196

担当

独立行政法人 酒類総合研究所

題名 (原題/訳)

Stimulation of appetite by alcohol.

アルコールによる食欲増進効果

執筆者

Hetherington MM, Cameron F, Wallis DJ, Pirie LM.

掲載誌 (番号又は発行年月日)

Physiol Behav, 74(3):283-9, 2001

キーワード

アルコール摂取、食欲、空腹

要旨

アルコールが食欲及び摂取量に与える効果を調べるために、26人に3タイプの実験を行った。それぞれのセッションで、標準の朝食を与えた。視覚的尺度は空腹度、どのくらい食べたいか、どの程度満腹か(食欲度)を朝食前から実験食である昼食まで記録した。昼食前30分は被験者は安静状態におく(ベースライン)、330mlのアルコールを含まない飲料を摂取させる(264 kJ)または330mlアルコール飲料(24g エチルアルコール、969kJ)を与える実験に供した。食欲度は実験前と後、ベースラインの間、昼食前後で調べた。昼食はビュッフェスタイルで冷たい水と共に提示した。

その結果、昼食の自由摂取はアルコール摂取後、安静群やアルコール非摂取群に比べ、有意に高くなった。また食欲度ではアルコール飲料群、アルコール非摂取群と有意な差は観察されなかった。全エネルギー摂取(アルコールからのエネルギー摂取も含まれる)はアルコールにより30%増加した。

以上の結果はアルコール摂取からのエネルギーは短期間では他のものの代償にはならず、むしろ食欲刺激効果をもつ事を示唆している。